



Pick Up News

■卒業研修(論文・設計)の提出と発表会(2/7-8)、修士論文の発表審査会(2/17)まで終わりました。4年、M2の皆さんおつかれさまでした。長い時間かけて取り組んで来たことを、わずかな時間で発表して終わり、というのは寂しい気もするかもしれませんが、成果はもちろん大切ですが、何よりそこまで取り組んで来た時間そのものが重要です。また記憶に残るのはその時間(日々)かもしれません。自身の大学生活を振り返って、成長した自分を感じ取って下さい。メディアテークでの展示と発表も残っています。そのような時間と場があることに感謝をして向き合ってもらえればと思います。今年も本学科らしさが表れた研究テーマや設計テーマがありました。さて、これからの1ヵ月は、1~3年生の皆さんにとっては次に向けて「栄養」を蓄える期間。就活もスタートしています。有意義な時間として下さい。

卒業論文(新井研究室(計画系)) ■インクルーシブ公園の利用実態及び計画プロセスに関する研究 ■災害公営住宅集会所のオンライン導入による孤立を防ぐ居場所としての効果と課題 ■シェアキッチンにおける利用の類型化に関する研究—大阪からほり悠を事例として— ■災害危険区域の復興まちづくりにおける多様なステイクホルダーの意識に関する研究—移転跡地活用事業が進む仙台・荒浜地区をケーススタディとして— **(石井研究室(計画系))** ■介護施設における排泄支援のための介護ロボット活用に関する調査研究 ■特別養護老人ホームの生活と介護における空間利用と行為の分析—建て替え前後での調査結果の比較考察を通して— **(不破研究室(計画系))** ■仙台市若林地区の足軽町における土地の細分化と宅地化の実態に関する研究 ■街道沿いに面するトタン葺民家の構成とその変容過程に関する研究—福島県会津若松市大戸町上三寄—門田町面川を対象として— ■宮沢賢治の童話世界と現実世界の対比に見る農村景観の変遷 ■宮城県内における郊外型カフェの空間構成と地域景観の関連に関する研究 ■秋田県大館における羽州街道沿いの町並みの変容過程に関する研究 ■宮城県白石市の歴史的町並みにおける水路の変遷に関する研究 ■世界農業遺産大崎耕土における屋敷林の存在意義と周辺環境への影響に関する研究 **(中村研究室(歴史・意匠系))** ■旧仙台藩人首の佐伯家住宅について—江戸時代の私塾の面影を残す近代和風建築— ■白河城下町の座敷蔵・藤屋について—棚倉城本丸御殿の平面に関する研究—慶応2年の阿部家城請の絵図に着目して— ■福島県磐梯町慧日寺門前町の民家 **(大石研究室(環境・設備系))** ■カーボニュートラルに向けた大学キャンパスのエネルギー使用実態に関する研究 ■冷房牛舎の温熱環境に関する研究 ■駅前空間の視覚的印象に関する研究 **(許研究室(環境・設備系))** ■水の蒸発効果を活用した涼風づくりに関する研究—冷却効果の実測と改善策の提案— ■BIM情報を用いた避難安全検証の効率化に関する研究 ■空調システムにおけるBIM情報の確認に関する研究 ■BIM技術を用いた空調配管システムの設計に関する研究 **(渡邊研究室(環境・設備系))** ■仙台における夏季気温分布に及ぼす緑地の影響に関する研究 ■仙台における夏季気温分布に及ぼす海風の影響に関する研究 ■病院BCPから考える建築設備の災害対策に関する基礎的研究 **(有川研究室(材料・生産系))** ■宮城県における木造住宅ストックの適正化に関する考察 ■八木山地区における学生アパートの変遷に関する調査研究 ■環境負荷から考える宮城県産材の利用促進に関する調査研究 ■東日本大震災における木造応急仮設住宅の再使用・再資源化に関する研究 **(菊田研究室(材料・生産系))** ■FRCCの強度及び熱伝導率に及ぼす超軽量骨材の影響に関する研究 ■単繊維引抜き挙動における化学合成繊維の複合効果に関する研究 ■FRCCの架橋則に及ぼす人工筋肉の影響に関する研究 **(佐々木研究室(材料・生産系))** ■大工技能者問題に対する工務店の取組に関する研究—東北の事例— ■建設業における外国人労働者の国際比較—日本、タイ、シンガポールの比較— ■建設業における技能実習制度の運用実態に関する研究—東北の事例— ■建設業の外国人技能実習生受入れに関する監理団体の取組の実態 **(薛研究室(構造系))** ■高性能カメラを用いた建物ヘルスマonitoringシステムに関する研究 ■液体2種と中間に浮かぶ球体を用いたハイブリッド制振法 ■中間免震構造の最適免震位置 **(曹研究室(構造系))** ■画像処理技術による振動測定の低コスト化に関する研究 ■深度学习を用いた構造物の振動特性の推定 ■物体検出技術を用いた道路標識マップの作成精度向上に関する研究 **(船木研究室(構造系))** ■慣性質量効果を有する液流ダンパーを用いた多層骨組の振動台加振試験 ■慣性質量効果を有する液流ダンパーを用いた多層骨組の振動応答解析 ■危険性自己発信型と施工アンカーの開発 ■耐震補強が施されたRC造建物の継続的常時微動測定と時刻歴応答解析に基づいた振動特性の検証 ■鉄骨置屋根構造の振動応答特性 **(堀研究室(構造系))** ■時刻歴特性の異なる地震波を用いた加振実験による高層免震建物の応答の検討 ■鉛直設置した同調粘性マスターダンパーを用いた高層建築物の地震時全体曲げ変形抑制 **卒業設計(新井研究室(計画系))** ■「start」#Episode 0 ■flow~音楽と川の共鳴~ ■思い出の塔-大崎市民会館の再提案- ■Mine Utilization 産業資源の保存と活用 **(石井研究室(計画系))** ■表現者が表現者として生きる場所 ■ヨハノガッコウ ■ペット殺処分ゼロに向けた提案 ■紙里を渡-和紙産業を継承する白石の風景- ■好縁~長期未整備公園を活用した、スポーツでのまちづくり~ **(不破研究室(計画系))** ■漁師のHOMEになるまちへ **(竹内研究室(計画系))** ■交流からつながりへ ■温故知新~あの風景を再び~ ■—やどり— 『時空』と『懐古』に宿るもの ■開放された共同生活 ■市民を主役としたまちへ~大沼デパート跡及び周辺の再計画について— **(中村研究室(歴史・意匠系))** ■Collect Memory 登米町の文庫蔵で行われる記憶の交換 **(福屋研究室(歴史・意匠系))** ■杜の協奏曲 ■HIPHOPの手法による、街での遊び方~ ■竜の口渓谷の魅力発信と八木山橋の利用 ■秋保再生計画 ■Daily Therapy Train ■空間を織る~布と繕いによる設計提案~ ■死をチカクする ■あの日からの建築 **(許研究室(環境・設備系))** ■ 静

Pick Up Lab. 福屋研究室

は、建築デザインを学ぶ研究室です。年が明けた福屋研は、卒業設計一色です。今年はOBと建築家も加わり3回の中間発表を行いました。福屋研では、地域資源と技術から豊かな建築デザインをつくる活動として、今年は、仙台・荒浜や東京・板橋のフィールドワークや、石巻・大川小学校での記憶の街模型復元展示を行いました。また修士1年は大和ハウス主催、三菱地所設計主催のコンペでそれぞれ入選するなど、自主活動が大きな成果を結びました。コロナ影響下で流動的な社会状況ですが、卒業設計イベント、コンペや海外インターンなど、学生時代にしかできないことに取り組むメンバーたちで賑やかです。



卒業設計中間発表での講評



記憶の街模型復元展示



3年 相原 拓真くん
仙台育英学園高校 出身

Pick Up Student

大学生活で目標としていた資格取得を達成することが出来ました。私は普通科高校出身で建築の知識がなく、授業についていくのに必死でした。ですが、3年になり空き時間が増え、宅地取引士資格試験の勉強を始めました。建築法規の分野がありましたが授業で習ったばかりだったので授業だけカバーすることが出来ました。アルバイトや課題がある中で1日2時間ほど勉強したことの積み重なりが合格へ繋がったと感じました。今に満足するのではなく卒業後の1級建築士を目指した勉強を頑張りたいと考えています。現在中村研究室に所属しており岩手県陸前高田市の気仙大工左官伝承館に収蔵された職人道具の調査を行っています。伝統建築の良さ、大工が施した技を伝えたいと思います。



1年 鈴木 咲里花さん
一関学院高校 出身

Pick Up Student

私は幼い頃からものづくりが得意で、それを活かしたいと思い建築の道に進みました。普通科高校出身だったため、工業大学に進学することには少し不安がありましたが、今は楽しく建築を学ぶことができています。建築は日常的に身近な存在であるため、学んでいると納得がいくことも多くとても楽しいです。1年生を終えて最も印象に残っているのは、建築設計の授業です。毎週行われるエスキスに向けてアイデアを出してスタディ模型を製作し、最終的には図面も作成してプレゼンテーションを行いました。正直とても大変な日々でしたが、同時に大きなやりがいを感じる事ができました。2年生になっても、自分の夢に向かって頑張っていきたいと思います。